



コスタリカ共和国 (Republic of Costa Rica)



- コスタリカへの援助総額は2014年度までに累計1,501.22億円。
- 国土の4分の1を保護区に指定し、炭素中立化政策を推進する等、環境立国として独自の環境政策を実施。日本は環境分野への支援を中核とした持続的発展を支援。
- 中米で最初に地デジ日本方式を採用。

国概要

(基礎データ)

- ・面積: 51,100平方キロメートル(九州と四国を合計した面積)
- ・人口: 481万人(2015年, 世銀)
- ・首都: サンホセ(首都圏人口約227万人)
- ・民族: スペイン系と先住民の混血が95%(他にアフリカ系, 先住民等)
- ・言語: スペイン語
- ・宗教: カトリック(憲法第75条。ただし, 信教の自由あり)
- ・政体: 立憲共和制
- ・議会: 一院制(57議席)
- ・GDP: 52,561百万ドル(2015年, 中銀)
- ・一人あたりGNI: 9,750ドル(2014年, 世銀)
- ・経済成長率: 2.8%(2015年, 中銀)
- ・失業率: 9.6%(2015年, 中銀)

※特に注がない場合は外務省ホームページをもとに記載。

(略史)

1502年	コロンブスが「発見」
1821年	グアテマラ総督府, スペインより独立
1823年	中米諸州連合結成
1848年	中米諸州連合より分離独立
1948年	内戦により反政府軍が勝利(6週間続き, 死者2千名)
1949年	現行憲法制定(第12条: 常設軍廃止)以後, 軍事クーデターによる政情不安のない安定した民主主義国家となる
1987年	アリアス大統領が中米和平への貢献によりノーベル平和賞受賞

援助実績(E/Nベース)

スキーム	額(累計)／人数(延べ)
円借款	1,222.41億円 (2014年度末時点)
無償資金協力	55.97億円 (2014年度末時点)
技術協力	222.84億円 (2014年度末時点)
青年海外協力隊	延べ537人 (2016年6月時点で15人)
シニア海外ボランティア	延べ89人 (2016年6月時点で7人)

出典: ODA国別データブック2015
青年海外協力隊事務局統計(平成28年6月末)
(注) 青年海外協力隊には, 短期派遣ボランティアを含む。

コスタリカへの主要ODA供与国 (2013年, 出典: OECD/DAC, 支出総額ベース)

	国名	百万ドル
1	日本	17.83
2	米国	12.29
3	ドイツ	9.78
4	ノルウェー	7.03
5	フランス	5.74

経済関係

スキーム	金額／人数(直近年)
日本からコスタリカへの輸出	373億円 (2015年, 財務省貿易統計)
コスタリカから日本への輸出	263億円 (2015年, 財務省貿易統計)
在コスタリカ日系企業数	32社 (2015年10月時点, 外務省)
主要日系企業現地法人の雇用数	1,713人 (2016年6月時点, 在コスタリカ大使館)

人的つながり

項目	人数(直近年)
コスタリカにおける在留邦人数	369人 (2015年10月時点, 外務省統計)
在日コスタリカ人数	155人 (2015年12月, 法務省統計)
日本からコスタリカへの留学生数	22名 (2016年6月時点, 在コスタリカ大使館)
コスタリカから日本への留学生数	30名 (2015年5月時点, (独)JASSO調査)
日本からコスタリカへの訪問者数	4,932人 (2014年, JNTO)

日本とコスタリカ共和国との協力年表

年代	案件
1935年	外交関係樹立(1941年外交関係中断, 1952年再開)
1969年	サンホセ市と岡山市が姉妹都市協定締結
1973年	青年海外協力隊(JOCV)派遣取極締結
1973年, 1975年	初の円借款「カルデラ港建設計画」(計約68億円)
1974年	JICAコスタリカ支所開設, JOCV派遣開始
1977年	プンタレナス市と気仙沼市が姉妹都市協定締結
1985年	技術協力協定締結
1985年	円借款「ミラバジェス地熱発電計画」(135.47億円)
1989年	円借款「構造調整計画(Ⅱ)」(124.68億円)
1993年	円借款「中都市上下水道整備計画」(16.56億円)
1996年	橋本龍太郎総理大臣のコスタリカ訪問(日本・中米首脳会合の実施)
2001年	円借款「ピリス水力発電所建設計画」(166.83億円)
2005年	第2回日本・中米首脳会合(於: 東京)
2005年	集中豪雨災害に対する緊急援助(1,250万円相当)
2006年	円借款「サンホセ首都圏環境改善計画」(150.01億円)
2010年	コスタリカが中米で最初に地デジ日本方式を採用
2010年	豪雨災害に対する緊急援助(800万円相当)
2010年	無償資金協力「太陽光を活用したクリーン・エネルギー導入計画」(8億円)
2011年	一般文化無償資金協力「コスタリカ大学日本語学習機材整備計画」(4,560万円)
2013年	一般文化無償資金協力「国営ラジオ・テレビ局放送機材整備計画」(7,200万円)
2013年	円借款「グアナカステ地熱開発セクターローン」(560.86億円)
2015年	外交関係樹立80周年, 日・中米交流年
2016年	無償資金協力「経済社会開発計画」(3億円)(環境性能に優れた次世代自動車供与)

JICAボランティア活動は40年を超え, コスタリカで高い評価。

1974-81年, 円借款計68億円及び技術協力によりコスタリカ太平洋岸の最大の国際貿易港を建設。その後, 技術協力により, 改修計画を支援。

コスタリカ初の地熱発電所建設。東芝製機材など日本の技術を使用。毎年国内外から多くの視察団が訪れる。



1996年8月 第1回日・中米首脳会合



2005年8月 第2回日・中米首脳会合

これ以前にも1991年の地震災害, 1996年の台風災害に緊急援助を実施。

2015年, 中米最大の下水処理場が完成。



2012年, ミラバジェス火山の麓に中米初のメガソーラー完成。

これ以前にも1983年度から文化無償協力を18件実施。

次世代自動車交換公文署名
日本の最先端技術による二酸化炭素排出削減が期待。

